

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の 特徴	法人運営理念「地域に根ざした誠実でより良い医療・介護の実践」に基づき、まずは誠実であることから信頼に繋げていきたいと支援しています。特に在宅での生活をいかにサポートするかを本人や家族と協力しながら事業所の運営を行ってきました。柏原の郷では、毎月、地域交流を行っています。体操と毎月テーマを変え、講話や体験等を提供しています。それをきっかけに気軽に立ち寄れる場所になればと考えています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 柏原の郷	管理者	梶川 丞		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	2人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	行事担当を設け、地域交流を図っていき立ち寄りやすい事業所にしていく。	月1回の住民参加型の行事を実施し、民生委員の協力のもと、地域の方が10名前後参加してくれている。	事業所として、少しずつ地域と関わっていけば良い。	事業所行事は継続して、毎月行っていき、地域交流を図りながら、相談しやすい環境にしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	自治会や幼稚園、中学校といった地域行事に参加。また参加型の行事を計画し地域交流を設けて、気軽に立ち寄れるよう周知から始める。定期広報を配布および自治会にも回覧できるかはわからないが定期的に渡し、自治会に困った際に相談に来やすいようにする。	自治会の行事に参加させてもらったり、認定こども園と行事企画し、世代間交流を図ったり、中学校の行事に参加し、交流を深めている。地域の方に広報配布が出来ておらず、事業所内に掲示して、柏原の郷の活動を知らせてもらおうと取り組んでいる。	明るくてよい所だと思う。道路沿いで危険な場所になると思うが、利用者と外に出掛ける。また、出られた際は、どう対応されていますか。	地域参加型の行事を継続することで、気軽に立ち寄り、相談しやすい環境にする。施錠や屋外に行かれた際の対応等に、疑問を持たれないように運営推進会議や相談時にも説明していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域行事担当を設け、年間行事として計画・実行していく。地域の方が立ち寄り易くするためにも、どなたでも参加できる催しを計画する。	毎月第1金曜日に体操の日とテーマをつけ、地域参加型の行事を計画・実施に繋げている。民生委員が誘ってくれ参加される方は定着しているが、他の方の参加が定着していない。チラシで知らせた際には、参加される方も数名おられた。	自治会行事は日曜日が多いので、夏祭りは土曜日開催になっているので、その時に行事等を計画してはどうか。	毎月行っている事業所行事を継続し、体操だけでなく、ためになる情報を発信していく。また、参加できる地域行事に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	自治会の年間行事に参加し、事業所を知ってもらう。何かあったら相談しやすい環境を整える。	自治会の地域行事に参加し、出店して交流を図っている。相談までは行かないが、気になることを尋ねられる場面も少しあった。	少しずつ、声を掛けてもらえているので、ゆっくり継続してはどうか。また、老人会に話をもってはどうか。	自治会の行事に継続して参加し、相談しやすい環境を整えていく。昨年度より地域行事に顔を出すようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	随時相談を継続していく。行事で地域住民（子供も含む）が参加しやすい企画を立案・実行していく。	随時、電話相談や見学に対応している。また、行事等で介護保険のことについても話し、相談しやすい関係性を築けるようにしている。土日の行事計画まで至っておらず、子供たちの参加は出来ていない。	行事に声が掛かってきているので、継続していただきたい。	運営推進会議において、今後も事例の相談をして、地域にどういった資源があるのかを知る。また、地域住民の情報も尋ねて、相談窓口になるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	避難場所を確認し安全で安心出来る避難経路を確立する。地域の年間行事の消防活動に参加する。	地震と水害（土砂）時の避難場所を確認している。地震に関しては、当該業所にて待機し、水害や土砂災害時は南多田公民館が一番安心できる。	消防士の講演等は参加出来ている。何かあれば、丹波警察を頼ってはどうか。	避難場所に該当する公民館の設備等を把握しておく。また、今回、参加出来なかった地域の消防活動に参加する。